

「筑後市障害者協議会」では、多くの命が無残に奪われた“相模原事件”を忘れない、事件を通して“人間の尊厳とは何か”を考える機会にしたいとの思いを基に、「相模原事件を考える 100 文字メッセージ」に取り組みられています。慈久福祉会職員もその趣旨に賛同し、この取り組みに参加させていただいています。今回、同協議会にご相談し了解を得て、同協議会が作成されたメッセージ集から本会職員のメッセージを抜粋し、本会で独自に印刷しました。

本会の慈久園は、事件のあった「やまゆり園」と同じく重度の障害のある方々が生活されている入所施設です。相模原事件は元職員によって引き起こされました。その元職員と私たちには相違点とともに共通点もあることと思います。

どうかご一読いただき、事件を語り合うひとときをお持ちいただくよう心から願っています。

(慈久園職員を代表して)

## ● 相模原事件から 3 年…

# あなたは どう 考えますか？

### 【あなたへ】

2016年7月26日深夜、寝静まった障害者施設で平穏に暮らしていた重度の障害を持つ男女19人が襲われ、「いのち」を絶たれました。この事件は「相模原事件」と呼ばれることになりました。

犠牲になった人たちは特に重度の障害を持つ人たちで、犯行が行われる際、ほとんど抵抗できずに殺傷されました。

この事件から、私たちは障害を持つ人たちが持つ無限の可能性や、そもそもの人間としての尊厳をどのように捉えたらよいのか、人としての尊厳の問題を根本から問いかけられました。

今回の〈事件を決して忘れてはならない!!〉と思いました。

3年目になる今年、たくさんの人から「100文字メッセージ」を寄せていただき、それを冊子として作成し、市民のみなさんとともに考える取り組みにしたいと思います。

ぜひご一読いただき、ご自身のこと、子どものこと、家族や親せきのこと、友人のこととして、考えてみてください。

### 【相模原事件とは】

相模原市の障害者施設「津久井やまゆり園」で2016年7月26日未明、刃物を持った男が入所者らを襲い、19人が死亡、26人がけが。

犯人はこの施設の元職員26歳でした。

亡くなったのは41～67歳の男性9人と、19～70歳の女性10人。第二次世界大戦以降、殺人事件としては19人の犠牲者は最も多い事件となりました。

犯人は、障害者のことを「税金の無駄」と言い、「障害者の安楽死を国が認めてくれないので、自分がやるしかないと思った」と供述。「障害があって家族や周囲も不幸だと思った。事件を起こしたのは不幸を減らすため。殺害した自分は救世主だ」「(犯行は)日本のため」などと供述しており、そうした言動は、3年を経過しようとする今も変わっていないとのこと。

# 相模原事件を考える

## 100 文字メッセージ集 2019

生きる意味や価値はまわりが決める事ではなく、自分自身が決める事だと思います。誰もが自分らしく生きられる世の中になってほしいと願っています。 匿名(施設職員)

このように問われると、「忘れていない」「命に優劣はない」と私も答えます。しかし、“命の場所は平等ですか？”と問われると、私は答えることができません。日常の暮らしの多くで、私も命を奪っていると思います。 諸藤泰男(慈久園)

犯人の思想は危険極まりなく、事件から3年経過した今も一貫した姿勢を貫いている点では驚くばかりである。「人のため、日本のため」と言っているが、自分が殺した人達のことを、もっと理解してほしいと思う。 匿名(慈久園 生活支援課)

私たちが社会で共に生きるためには、お互いを理解しようとする努力も必要である。考え方は様々だと思うが、一人ひとりがこの事件に関する色々な方の立場で考えること、自分を振り返ることの継続が大切だ。 横山久子(慈久園 生活支援課)

誰もが、誰かの大切な人である、ということを忘れてはいけない。 匿名(慈久園)

誰かに必要とされなくても別の誰かにとっては大切な一人であることは全ての人に共通していると思う。身勝手な思いで人の未来を奪ってはいけない。この事件が命について改めて考える機会となったことが悲しく、残念。 松尾柚香(慈久園 生活支援課)

被害者の父親が「事件後、息子が生まれて初めてお父さんと呼んでくれた」と聞いて、被害者の想像を絶する恐怖を思うと胸が締めつけられた。当事者の心のケアは一生続く。二度とこのような事件を起こしてはならない。 匿名(慈久園)

福祉に携わっていた人間が、安心して利用できるはずの施設でこのような事件を起こす事はあってはならない。障がいを持つ人へのマイナスなイメージを世の中全体で変えていくことが悲惨な事件を繰り返さない近道と思う。 古賀直樹(慈久園 介護福祉士)

植松被告の主張に賛成する人は少なからず居ると思う。障害者に関わらず認知症に対する差別や偏見は無くなる事はないと思う。他人のことをすぐ決めつけるのではなく、分かろうとする気持ちを大事にしようと思う。 高口大介(慈久園 介護係)

障害を持つ人たちにとって生活しやすい社会とはまだ言えないと思う。この事件によって苦しめられている人は多いと思う。障害を持っていても当たり前のように生活できる世の中にしていかなければならない。 匿名(障害者支援施設)

この事件が起こった当初から犯人がなぜこのような行動を起こしたのか、3年経過した今も障害者への否定的な考え方が変わらないのが理解できない。どちらも人の命であることを考え、過ちを反省してほしい。 山下公史(介護士)

人の命を安易に傷つける殺傷事件が続いている。怒りと同時に人間の弱さと哀れさがやりきれない。同じ命、誰もがその存在を認め合う相互の関係性を享受できる社会でなければと強く思う。優しくありたい。

匿名・50歳代・女性(慈久園)

植松被告に対して何様だというのが率直な感想だ。常識は通じないだろうが、許されることではない。分からないのであれば世の中に返ってきて欲しくない。それと、介護職が社会的に評価されることを願う。

匿名(障がい者支援施設 介護職員)

人に優しくすること。人を傷つけないこと。わかってはいるが…なかなかできないのが現状。みんなが人に優しくできる社会を創っていかないといけない。同じような事件を繰り返さないためにも!!私は何から始めようか?

匿名

生きることは誰もがもっている権利です。人の価値を決め、命を奪う権利は誰も持っていない。あの事件が起き、その後も命を奪う事件が後を絶ちません。皆、誰かに支えられながら生きていることを忘れてはいけません。

匿名(慈久園)

この事件を知りいくつか考える点はあるかと思いますが、その一つとして、もし同じ事件が自分の働く施設で起こったとして「命を懸けてまで利用者を守れるのか?」ということです。

匿名

3年前の7月に起きた事件は衝撃だった。障がい者施設に務めて30年経つが、今回の犯人の障がい者に対する考えはどう考えても理解できない。全ての人がある人らしく生活できる社会にしていかなければならないと思う。

匿名

障害者は、特別な人ではなくて基本は同じ人間です。命の重さも権利も健常者と同じです。相模原事件のような出来事が二度と起きないようにもっと障害を持つ人に対して理解できる社会になることを願っています。

匿名(慈久園)

障害により、生活する中で多少不自由な所がでてくると思うが、できないところをサポートするのが私たちではないか。相手のことを知るほど、新たな発見や生きがい等に繋がるようサポートしていくことが大切だと思う。

匿名(慈久園)

犠牲者19名を出した相模原事件を、風化させる事がないよう何らかの痕跡を残す半面、「そっとしておいて下さい」と言う、遺族の感情も考慮し、両面から考える必要性が重要ではないか。

三笠裕樹(地域生活支援センターやまさん)

残酷で悲惨な事件から3年経ちますが、決して許せない思いは今日も全く変わりません。亡くなられた方々の冥福をお祈りし、心身に深い傷を負われた方々が一日でも早く回復して癒されますように願っています。

金富さよ子(地域生活支援センターやまさん)

相模原市の津久井やまゆり園で痛ましい事件が起き、約3年経ちました。障害者差別解消法を始めとした法律によるものだけでなく、障がい者、健常者の分け隔てなく一人一人の人権についてより深く考えていきます。

中村一規(地域生活支援センターやまさん)

人が生きる権利は平等であり、人が人を殺めることは絶対に許されることではありません。何人たりとも命あることを幸せであると喜び、助け合う社会によって人を思いやる心を養ってください。多久島幸太(やまさん)

児童達と外活動に出かけた先々でもっとここがこうならいいのに…と感じることが多くある。対等につながり、誰とでも気持ちを分かち合っていける日本になるために…。学んだ事やできる事を発信できる人でい続けたい。

古賀千佐代(地域生活支援センターやまさん)

人それぞれ考え方の違いはあるが、障害者も健常者も全ての人が一人の人間として、命ある限り尊厳は守られなければならない。幸せに生活している人々の命を奪う権利もないし、今後このような事件がないことを願います

馬場里美(地域生活支援センターやまさん)

障害者、健常者と区別する事なく、一人の人間として誰しもが自分らしく幸せに暮らし、尊重されるべきと思う。相模原事件の犯人の様な偏った考えの人が少しでも減る様に子供の時からの人権教育もとても大事だと思う。

匿名(やまさん)

多くの人を傷つけている最中、犯人はどんな顔をしていたのだろうと考えても想像もつきません。障害があると生活しづらいかもしれません。しかし一人の個性として受け入れられ自由に生きていける世界を望みます。

匿名(地域生活支援センターやまさん)

相模原事件から早くも3年が経つ。逮捕時から犯人の強固な差別意識は変わることがないという。平成から新元号令和を迎えた。そこに思い描く時代が訪れることを願いつつ、この事件が風化しないよう努めたい。

匿名(地域生活支援センターやまさん)

この事件が発生して3年になろうとしている。施設に従事している私自身も業務や私的な生活に追われ忘れ去ろうとしています。偏見や差別を無くし寄り添い再び起こさない共生社会を、目指したいと思います。

原田親志(地域生活支援センターやまさん)

障害を持ちながらも一生懸命に生きていた人が一瞬で命を奪われ、これからも色々な体験をしたかっただろうと思います。無念だったでしょう。又残された家族も一生忘れることは、できないと思います。

匿名(地域生活支援センターやまさん)

元号も「平成」から「令和」となり、日本も新しい一步を踏み出そうとしているが、「平成」は終わったのではなく、「津久井やまゆり園」の事件は、「令和」の中では、国民一人一人が考えていくことではなからうか。

繁永益雄(地域生活支援センターやまさん)

人の命を勝手に無価値や不必要と決めつける事は許されない。障害の有無に関係なく殺人は殺人。同じ職種として考えられなかったし、悲しく感じた。二度とこのような事件は起きてほしくない！！！！

匿名(地域生活支援センターやまさん)

痛ましい悲しい事件でした。なぜ自分の命同様、障害を問わずすべて同じ命と思えなかったのか。人としての尊厳の問題、人権教育の重要性を子供に大人が示していけないと改めて感じます。風化させてはいけません。

匿名(地域生活支援センターやまさん)

犯罪は自分勝手にわがままなものだ。自分を障害者に置き換えた時に、この命は要らない命といわれたくないはずだ。逆の立場を考える事が出来れば、他人に対して優しくなれる。自分は優しい人でありたい。

匿名(地域生活支援センターやまさん)

どんなに正当性のある理由を語った所で、人が人を殺していい理由にはならない。想像しましょう。自分が被害者や、その家族の立場だったら。人間は想像する事が出来る唯一の生き物のはずです。

匿名(地域生活支援センターやまさん)

障害があると不幸だと決めつけられ命を奪われてしまったこの事件。このような自分勝手な事件が二度とないように、何が幸せで何が不幸か考えてほしい。  
匿名(地域生活支援センターやまさん)

3年経っても悔しさは変わらない。人はみな生きる権利を持っている。その権利を奪う犯人を決して許せない。この最悪な事件を忘れてはならない。一人一人の存在をかけがえのないものだと示し続けていくために。  
匿名(地域生活支援センターやまさん)

健全者であろうと障がい者であろうと一人ひとりが懸命に生きている世の中で、何故このような大量殺人が起こるのか私は悲しくて仕方がありません。今回の事件を忘れてはいけないことを胸に刻み、生きていこうと思う。  
甲斐 隼(地域生活支援センターやまさん)

犠牲者にとっては早く忘れたい事件。私たち社会にとっては忘れる事のできない、忘れてはいけない事件。今一度、社会全体で「いのち」について考える必要がある。匿名(地域生活支援センターやまさん)

今の世の中、どこで何が起こるかわからない時代。何も非のない人々の命が、理由もなく失われてしまうことに、悲しさを覚えます。忘れてはいけない事件。どんな障がいであろうと、失っていい命なんて絶対にならない。  
匿名(地域生活支援センターやまさん)

人は一人として同じ人はいない。すべての人が生まれた時から、一人一人個性があると思う。その特性によって、尊敬されたり、否定されるようなことがあっては決してならないと思う。いろいろな人がいるから成長する。  
匿名(地域生活支援センターやまさん)

事件を思い出す度、非常に深い悲しみを感じる。障害を持って生まれても、一生懸命に生きていこうと努力している人に対しての尊厳を否定する考えや思想、行動について怒りを感じ二度と起こしてはならないと常に思う。  
中尾一則(慈久園)

あれから3年。どれぐらいの人がこの事件を覚えているのか？私は福祉の仕事をして障がい者と毎日接しているが、不幸だとは思わない。障がい者やその家族が不幸だという考えしか出来ない犯人の方がよっぽど不幸では？  
諸藤裕士(慈久園 生活支援課)

人権とは障害があろうが関係なく、全ての人に与えられた権利であることを全ての人々で意識し守っていくことが大切だと思います。命の尊さを誰もが敬いながら、心のバリアを取り除き支え合ってほしいと思います。  
井上恵美子(慈久園)

障害を持つ方を「無駄」や「不幸を減らす」と決めつける自分勝手な思い込みにゾッとする。だが社会には似たように考える人もいるのは悲しい事実。想像力を持って「障害も個性」と思える優しい社会になる様努めたい。  
匿名(慈久園)

時間の経過とともに記憶というのは、忘れ去られてしまいますが、2016年7月のあの日の事は、いつまでも心に刻んで、忘れてはいけないと思います。命に重いも軽いもない。皆、同じように尊いことを考えてほしい。  
堤美也子(慈久園)

障害を持っていようがいまいが、皆同じ人間であることにかわりない。自分が何らかの事故や病気で障害を持つかもしれない。一人一人がその様な意識を持てるようになると、この事件は他人事ではなくなるだろう。  
龍沙耶香(慈久園 生活支援課)

この事件は自分にとって一番印象に残る事件であり、無差別的かつ残酷なやり方で人の命を奪ったやり方であり、このような事が起きぬよう精進し、起きてはならない。  
匿名(慈久園 生活支援課)

他人の命を他人が終わらせる必要はないと思います。生きてくても生きられない人もいる中で、他人が命をうばうことは、おかしいことだと思います。  
匿名(慈久園 生活支援課)

あの事件から3年経ち、私たちの生活にはあまり変わりはないですが亡くなられた方の家族にとってはとても苦しい日々だったと思います。相模原事件を忘れないことで、同じような事件が起こらないようにしてほしい。  
匿名(慈久園 生活支援課)

生産性がない人や社会の役に立たない人は排除されても仕方ないという考え方が増えているように思う。植松容疑者だけが偏った考えで事件を起こしたのではない。社会の責任でもある。犠牲者の方々のご冥福を祈ります。  
匿名

毎日が奇跡の積み重ねだと思う。生きる喜び生かされていることに感謝する心を大切にしたい。色んな人がいて、色んな生き方がある。どれが正しくてどれが間違いなんてないのでは。但し命を大切にすることは絶対！！  
匿名(慈久福祉会)

自分とは違う価値観を知ること。一人一人の存在を否定しないこと。皆、さまざまな背景がある。多くの人に自然に寄り添う力がもてますように。  
匿名(慈久福祉会)

「誰と誰を比べるのか」。個性とは命のことだと思う。個性を大事にするということは、比較してどうということではなくその個性をありのまま受け入れるということ。  
匿名(慈久福祉会)

失われてよいという命は一つもない。失ってよい命も一つもない。だが児童、高齢者、障害者虐待は絶えない。報道のあり方にも疑問を持つ。何が事実なのか。見えない力で本質が隠されていないか。家族との時間を大切に。  
匿名(障害者相談支援事業所ホープ 相談支援専門員)

誰もが自分の生を全うできる世の中にしないといけない。自分の人生を自分らしく生き抜く権利はみんなにある。誰にも奪うことはできない。一人一人の生を、命をもっと真剣に考えていける社会にしていきたい。  
匿名(慈久福祉会)

障害のある人もない人も私たちは一人ひとりが大切な存在です。もし誰かが「障害者はいなくなればよい」などと言っても私たちが守ります。自分らしく楽しく生きていきましょう。  
匿名

人が人を憎み罰する社会がなくなればよいと思う。理想にすぎないかもしれないが、寄り添い支え励まし合う。当たり前なのが当たり前に出てくればと。自分の間違いを正当化する考えを一日も早く犯人が変わってほしい。  
匿名

加害者の勝手な思い込みにより、尊い命が奪われた、この悲惨な事件を忘れてはならない。一度は障がい者の支援に携わった加害者。事件の背景に加害者の特性以外に課題はなかったのだろうか。  
匿名

「障がい者がいなくなればよいと思った」と供述しているが、そもそも障害を抱えている人は好き好んで障がい者になった訳ではないのに、何故そのようなことを言われなければいけないのか、理解ができません。  
匿名(介護職)

あれからもう3年経ったんだと驚きました。夜寝ている間に行われた事の状況を考えると心が痛みます。好きで障がい者として生まれて来た訳ではないのに自分が同じ立場だったらどうしていただろうと思います。

匿名

障害を持って生まれただけで、生きる為に必要ないと殺してしまう悲しい考え、皆で命の尊さを考えなければならぬ事件でした。

赤坂力登

自分たちにできる事は今回の悲しい出来事から学ぶこと。障害者について学び、障害を持つ人がどのように生活してきたか知る。そうすればきっと気づくはず。自分たちとそんなに変わらないことを。

古賀新也(慈久園 生活支援員)

事件から3年経った今、どれだけの人がこの事件について考えているだろう。この事件を忘れないために、障害が特徴や個性と言われるようになるまで、利用者一人ひとりと向き合っていきたい。

匿名

この事件を皮切りに、障害者へのクローズアップが多く取り沙汰されていますが、昨今の高齢者ドライバーの問題や自分本位な悲しい事件が毎日の様に届き、今の心の貧しい日本の現状に胸が苦しく悲しい気持ちで一杯です。

匿名

無差別殺傷事件・DV・虐待・相模原事件等々、事件名は異なるが個人の尊厳が守られない事が多くある。とても悲しいことだ。誰もが尊い存在なのである。自分一人の気持ちで決めつけず、命の尊さを感じてほしい。

匿名

基本的人権の尊重があるように、人は生まれながら平等である。私達は普段の生活の中でこれらのことをどれ位理解し伝えているだろうか。命は決して奪ってはいけない。皆が生きやすい、共に生きる社会を目指すべきだ。

匿名

相模原事件は、色々な事を考える事件でした。支援を必要とされる方にも、両親がいて、兄妹がいて、周りにも沢山の方がいて、日々を笑顔で穏やかに生活されています。その方の生活を奪う事は、誰にも出来ません。

匿名

当たり前だが、権利は誰しもある物。健常者だから障害者だからということは何もない。皆が平等に生きることが正しいのであれば、障害者の方のケアも支援者のケアも同じように必要な事だと思う。

匿名

弱者を狙った卑劣な事件は、依然として後を絶たない。事件を防ぐ手段が見つからない以上、各自が常に自衛の意識と、弱者を守る正義感を持ち続けなければならない。

匿名

2019.7.26

## 【筑後市障害者協議会】

### ★100文字メッセージ2019事務局★

①年輪の園 (〒833-0002 筑後市前津 1,965 - 1)

☎53-8211 /mail: nenrin@ceres.ocn.ne.jp

②筑後市手をつなぐ育成会 (〒833-0052 筑後市高江 618-7)

☎52-5846 /mail: gcb000634656@leo.bbq.jp

③自立生活センターちくご (〒833-0031 筑後市山ノ井 4-1)

☎53-6468 /mail: cil-chikugo@sky.plala.or.jp

④わかたけ作業所 (〒833-0007 筑後市鶴田 474)

☎52-0747 /mail: wakatake1@iaa.itkeeper.ne.jp

★協賛施設 慈久園 (〒835-0022 みやま市瀬高町文廣 2049)

☎0944-63-6200 /mail: jikyuen@poem.ocn.ne.jp

---

### ★参加施設・団体★

年輪の園・筑後市手をつなぐ育成会・自立生活センターちくご・わかたけ作業所・桜園・浩明寮・慈久園・筑後市社会福祉協議会・筑後市ボランティア連絡協議会・福寿草の会・輪～RIN～・ふくろうの森・視覚障害者個人・